

2025年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔国語〕〔古典探究〕	3年	2単位	教科書	標準古典探究（第 一学習者）	副教材等	体系古典文法（数研 出版）	履修対象・ 使用教室等	2年（選択） 特別教室6
教科 ・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評価」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト・課題	単元ごと			40	60	25		
	提出物	おおむね授業ごと			60	40	25		
	ふりかえり	授業ごと					50		
		〔観点別配分％〕			〔3観点の比重を％で示しています〕				
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔○●〕	
4 5	古文 方丈記 徒然草	5 7	<ul style="list-style-type: none"> 作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んでも、ものの見方・考え方を深める。 鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
6 7	古文 源氏物語 紫式部日記	1 2 5	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
8 9	古文 大鏡 漢文 不思議な世界 三国志の世界	5 6 6	<ul style="list-style-type: none"> 史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。 小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
10 11	古文 御伽草子 宇治拾遺物語	5 5	<ul style="list-style-type: none"> 昔話として現代まで継承された話を読み、現実と非現実が入り混じる世界に生きる登場人物の心境を読み取る。 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 文語のきまりについて理解を深める。 			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
12 1	古文 平家物語 逸話 項羽と劉邦	6 4 4	<ul style="list-style-type: none"> 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 			単元テスト・課題	○	●	○
						提出物	●	○	○
						ふりかえり			●
学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。それと日々の授業の取組をもって評価します。授業の時間を大切にしてください。 ふりかえりの記述は根気をもって取り組んでください。その日学んだことや感じたことを言葉にすることは大切なことです。習慣化しましょう。 								